



詩とメルヘン開館25周年記念 特別企画 イラストレーター 内田新哉 特別描きおろし

詩とメルヘン絵本館開館25周年・雑誌『詩とメルヘン』創刊50周年を記念して、4号にわたり詩人・朗読家の詩村あかねさんと、イラストレーターの内田新哉さんに、インタビューと詩とイラストの特別かき下ろしを寄稿していただいた特別企画。

最終回となる第4弾は、2023年10月28日(土)～29日(日)にやなせたかし記念館ややなせたかし名誉館長ゆかりの地を巡った感想などを内田新哉さんに伺うとともに、描き下ろしの特別寄稿をいただきます。

1年間にわたり連載しました「詩とメルヘン開館25周年記念 特別企画」はいかがでしたでしょうか。

詩村さんと内田さんのかき下ろし作品は、6月26日(水)～8月26日(月)まで、アンパンマンミュージアム4階 企画展示室に展示予定です。ぜひお楽しみに！



内田新哉 「ふるさとの風～やなせ先生の眠る地～」

やなせ先生のふるさとを訪ねて

「先生。アンパンマンの海はなぜこんなに重い色ですか？」と聞いた事があった。「描く道の色、空の色がその人のふるさとだよ」…と先生の声。高知の海を見て納得した。正にその色だった。やなせ先生の命日近くに故郷を訪ねた。先生の眠る場所は穏やかな山に抱かれて、優しい風が吹いていた。

記念館の仙波さんに案内されて巡ったゆかりの土地には、やなせたかしの生きた証が溢れていた。後免駅の懐かしい路面電車や先生が描いた駅のキャラクターやポスターがあり、養子になって暮らした医院跡、通った小学校、水路が流れ近くには神社があった。絵本やさしいライオンのモデルになったやなせライオンの像も見れた。土佐には漫画家や陶芸家など芸術家が多く住み、素敵なカフェもある。ミュージアムを向いて立つアンパンマンやばいきんまんと一緒に眠るやなせ先生はきっと幸せですねと手を合わせた。この近くに柳瀬家の菩提寺があり、御住職から代々名士の家柄である事を聞いた。

ミュージアムの近くにある神社にもやなせ先生の作品があり、伝統のお祭りの様子も見学できた。こうしてやなせ少年が育ち、誰にも愛される人であり、作品を生み出す背景が痛いほど分かった。良いことばかりではなく、早すぎるお父様の死や弟さんの死に向かいあい、戦争の苦しみ、不遇な時を乗り越えたやなせたかしの姿を初めて知った。改めて初期の絵本、『あんばんまん』を読むとその優しさと愛の強さがしっかりと伝わってくる。これからは僕らがその大切なことを子どもたちに伝えていかなければと強く思った。

この旅で助けて下さった皆さんにありがとう、心から感謝を伝えたい。

イラストレーター 内田新哉

「詩とメルヘン」創刊50周年・ 絵本館開館25周年に寄せて

「詩とメルヘン」創刊50周年・絵本館開館25周年、おめでとうございます。星屑同窓生の一人として心よりお祝い申し上げます。やなせ校長を中心に日本の抒情の世界を支えた先輩方の人柄や作品を観て育ちました。人の温もりやプロの厳しさを学んだ学校でもありました。「詩とメルヘン」には、今の時代にも大切なことがたくさんあります。

どうか次の世代の子ども達が優しい感性を持ったまま大人に育ちますようにこれからもご尽力いただけると幸いです。



内田新哉 プロフィール

絵を描いたり、旅をしたり、静かに暮らしています。

小さな幸せがあれば良いと思います。

公式サイト <https://uchida-shinya.net>

インスタグラムアカウント [uchidashinya1](https://www.instagram.com/uchidashinya1)